

## 4 生活の見通し

児童生徒が主体的に判断し、意欲を持って行動するためには、生活に見通しが持てることが重要です。「これから何をすればいいのか」「自分は今、何に向かっているのか」を視覚的にわかりやすく示すことが大切になります。

また、「提出物などの忘れ物はないか」など、重要な事項を記録したり確かめたりすることも大切な生活の力です。一日のスケジュールや一週間の予定などを自己管理し、生活の見通しを持たせるための工夫やアイデアを示します。

### 1 一日の予定

学期ごとに時間割が決められていても、学校行事等でその日の朝に、急な変更を余儀なくされることがあります。

そこで、朝のうちに、一時間ごとの教科、授業を行う場所を児童の目に付きやすい**黒板脇に表示しておく**ことで一日の生活の流れに見通しを持たせることができます(図4-1)。

一つ一つの各教科のカードに磁石を貼っておけば、取り外しも簡単で、いちいち書く手間がありません。

磁石付きのホワイトボードの活用も有効です。取り外しができるため、黒板を使用する際は、ホワイトボードごと別の場所へ動かすことも可能です。

一日の見通しが持てるために、休み時間のうちに次の時間の準備をすることもでき、授業への取り組みもスムーズになります。



図4-1「黒板脇に取り付けられる磁石付きのホワイトボード」



図4-2「収納ケース」

一つ一つのパーツを収納する半透明のケース。

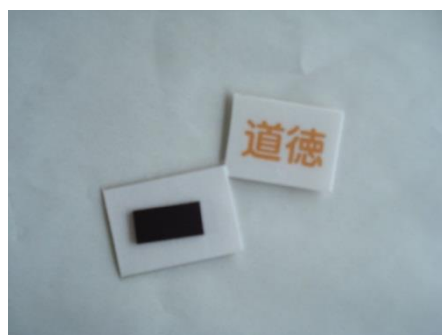


図4-3「予定のパーツ」

裏に磁石を付けておけば、取り外しが簡単。各パーツはラミネートしておけば丈夫で、毎年使えます。

## 2 カレンダーの活用

9月						
日	月	火	水	木	金	土
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14 応援練習	15
16	17	18	19	20	21 応援合戦	22
23	24	25 学年練習	26	27 予行	28	29 運動会

**力を合わせてがんばろう、3組！**

図 4-4 「カレンダーの活用」

運動会や宿泊行事などの学校行事に向けて、気持ちを高め、準備等の見通しを持たせるためにカレンダーを活用します（図 4-4）。

模造紙で大きく示し、題材の導入に活用したり、集会のたびに見て確認したりするとよいでしょう。

用途や目的に応じて、カレンダー形式ではなく月間行事計画のような一覧表もあります。



## 3 メモ帳やノート、手帳の活用

メモ帳やノート、ビジネス手帳を活用することが考えられます。見通しを持たせ、忘れ物を防ぐ効果が期待できます。手帳に予定を書き込むだけでなく、頻りに活用することで便利さを実感できることが重要です。

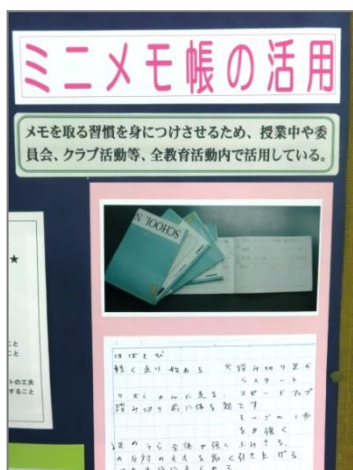


図 4-5 「ミニメモ帳（小）」

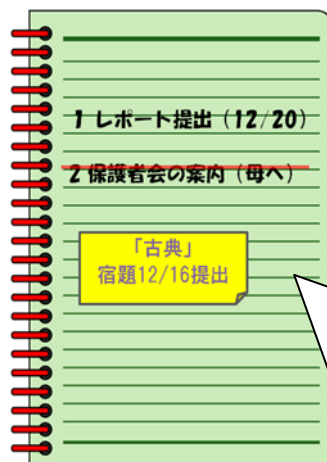


図 4-6 「ノートの活用」

- ・ノートにメモを書き込むことから始めます。
- ・初めは「重要な事項」のみ。
- ・終わったら、赤線 \_\_\_\_\_ で消す。記録が残るので、後日、「遂行したのか、しなかったのか」など確認できます。
- ・赤線 \_\_\_\_\_ を引くことで、達成感を得やすく、励みにも。
- ・筆記が苦手な児童生徒には、メモを記した付箋紙を個別に渡すことも必要な支援です。

### <ユニバーサルデザインの視点>

「③視覚や触覚に訴える教材・教具が準備されている授業」

「④欲しい情報がわかりやすく提供される授業」

→時間を意識し段取りよく行動するには、時間の見通しを持つことが必要になります。その意識を高め、必要に応じて確認できるように、視覚的に情報を整理して提供したいものです。

## 応用・発展

## ～特別支援学級や特別支援学校での活用例～

### 1 一日の流れ

落ち着いた生活を送る上で、学校生活に見通しを持たせることは大切です。一日の流れと活動の場所を写真で示し、一目で理解できる工夫をします（図 4-7, 図 4-8）。こうした工夫は、教員の指示の軽減や児童生徒の不安を減らすためにも必要です。



図 4-7 「スケジュール表（黒板掲示タイプ）」

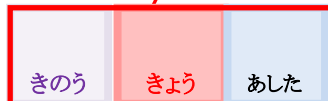


図 4-8 「スケジュールボード」

### 2 カレンダーの発展・応用

11月						
日	月	火	水	木	金	土
			7 ステージ			
				8	9	10
11	12	13 ステージ	14	15	16 ステージ	17
18	19	20 校内発表	21	22	23	24 まつり

図 4-9 「時間の流れを実感できるカレンダー」



#### (1) 差込式の日付カード

カレンダーのセルがビニールのポケットになっており、そこ予定を書き込んだカードを差し込む。

予定の日に、日一日と向かっていることを実感しやすいように、帰りの会でカードを抜いていく。

#### (2) 「昨日・今日・明日」の枠

言葉の使用と合わせて、日が進むことを実感しやすいようにする工夫のひとつ。枠を上からはり、一日ごとにずらして使う。

### <特別な教育的支援を必要とする児童生徒への効果>

自閉症のある児童生徒は、これから起こることの予測がつかない状況や急な予定変更に対して不安を感じやすく、時に混乱するなど、大きなストレスを感じます。そうした不安やストレスを軽減し、生活の見通しを持たせるためには、「事前の予告」をすることが重要になります。その際に、言葉による指示だけではなく、スケジュール表や行動の手順表、板書や写真などのように「視覚的」に示すことがポイントです。